

創立150周年

12月号（令和5年11月30日発行）

kurosho-dayori



鉄小だより

<http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/kurogane/> 横浜市立鉄小学校

皆で見上げる150年目の鉄の空

校長 玉置 恭美

「暑い」と、半袖で過ごしていたのがほんの一か月前とは思えないような、冬を感じさせる毎日となりました。はや「師走」。2023年のカレンダーが最後の一枚となります。

今年は、創立150周年の年。11月11日（土）に記念式典を行いました。代表委員会で決定した、今年のスローガン、「150年の歴史をつないで、つきすすめ」が表現するように、児童一人ひとりが、「伝統」という言葉を自分なりに受け止め、それを守りつつ、次の世代へつ



都筑太鼓白井代表の祝い唄

なぐ取組を進めてきました。伝統の鐵囃子、校歌やソーラン節を披露する児童、そして、それを見る児童。地域の皆様のお話や、鉄小卒業生が代表である都筑太鼓の演奏を全校で聴くという経験は、小学校時代の大きな記念、思い出となったことと思います。また、それに先駆けて、120周年記念式典の際に

作成され、当時の在校生の思いが詰まったタイムカプセルが開封されました。30年前の鉄小の様子を知ったり、30年前の在校生からのメッセージを読んだりすることは、他では経験できないこと。児童たちは大きな大きな宝物を、過去から頂いた気持ちになりました。



30年前の全校児童の貼り絵

式典の日の夜、本校校庭が開放され、近隣で打ち上げる



記念式典の夜空を飾る花火

花火を、在校生、保護者の皆様、卒業生、近隣にお住いの方々と鑑賞することができました。10代から80代まで、本当に様々な世代の「鉄小卒業生」が、母校の校庭に久しぶりに集まり、同じ花火を見上げながら、旧交を温める機会となりました。

子どもたちが、母校の歴史や思い出を共有し、これからの10年、さらにその先まで、鉄小の良さを持続し、更に発展させてまちの未来を担ってくれるよう、願います。

今後とも、どうぞ、鉄小学校の学校教育に、ご理解、ご支援のほど、よろしく願いいたします。